

松原小学校の教育目標 やさしい子 考える子 元気な子



わがまち夢の学び舎

松原

学校通信まつばら 11月号

令和2年 10月30日 (第430号)

世田谷区立松原小学校

校長 尾上 佐智子

〒156-0043

世田谷区松原5-43-26

TEL 3322-0191 FAX 3322-4351

[/school.setagaya.ed.jp./maba/](http://school.setagaya.ed.jp./maba/)

題字は、彩の会 竹尾昭子先生にお書きいただきました。

ライブ中継・YouTube 限定配信の学芸会に向けて

校長 尾上 佐智子

金木犀の香りを楽しんだのも束の間、長雨を境に一気に季節が進み、すっかり秋が深まりました。10月3日の運動会は、感染症対策と工事のため梅丘中学校を会場として行うという、異例づくしの開催となりました。その中であっても、子どもたちは本番に向けて練習してきた成果を見せよう、運動会ができる喜びを伝えようと、どの学年の子どもたちも練習の時以上の力を発揮して立派にやり遂げました。その素晴らしい姿を観て感じた感動は今でも心に強く残っています。参観された保護者の皆様方からもアンケートでたくさんのお褒めの言葉をいただき、子どもたちは行事を通して大きな達成感を感じることができました。教職員一同も、さらに子どもたちのために取り組んでいきたいという気持ちを高めております。本当にありがとうございました。

この運動会の感動が冷めやらぬ中、各学年では11月13日の学芸会に向けた練習を始めました。台本を片手に登校してくる子、友達と役柄に合った動作や台詞の言い回しを話合う子など、校内のそこかしこですっかり学芸会モードの子どもたちが見られます。感染症は収まりを見せず感染拡大の方向にあるため、今年度の参観は、子どもたちは教室でライブ中継を、保護者の皆様にはYouTubeでの限定配信を鑑賞いただく方法とさせていただきます。例年とは違った取り組み方にはなりますが、運動会に引き続き、一つのものを大勢で創り上げた成就感を味わうことができるよう、子どもたちの力を最大限引き出すべく指導してまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<11月の行事予定>

1日(日) 開校記念日	17日(火) クラブ活動(6校時)
2日(月) 全校朝会	19日(木) 児童集会
3日(火) 文化の日	20日(金) 避難訓練 煙中訓練 4年起震車体験
4日(水) B時程	委員会発表集会
5日(木) 就学時健康診断 4時間授業 B時程	23日(月) 勤労感謝の日
7日(土) 土曜授業日	24日(火) 委員会活動(6校時 12月分) かたづけ週間始
9日(月) 安全指導日 全校朝会	25日(水) ネットリテラシー醸成講座
10日(火) クラブなし5時間授業	(3校時6年 4校時保護者)
11日(水) 学芸会紹介集会	26日(木) 85周年集会 手話講師授業(4年)
12日(木) 5時間授業 学芸会リハーサル	27日(金) なかよしタイム かたづけ週間終
13日(金) 学芸会(映像による児童鑑賞日)	30日(月) 全校朝会 短なわ週間始
14日(土) 5時間授業 給食あり	NASA宇宙プロジェクト
16日(月) 振替休業日	

【11月の生活目標】

<生活>友だちを大切にし、下級生に親切にしよう

<保健>寒さに負けない体をつくろう

<給食>感謝して食べよう

【人格の完成を目指して】

11月のテーマ：『フェア』

- ・いじめはひきょうなことだから、絶対に受け入れないようにしよう。
- ・「ごめんなさい」と謝られたら、素直に受け入れよう。

教科「日本語」って何を教えるの？

日本語担当 木本 沙織

日本語は、世田谷区独自の教科です。日本語は、次の3つの育成をねらいとしています。①深く考える力。②自分の考えや思いを表現する力、コミュニケーション能力。③日本文化を理解し大切に、継承・発展させる力・態度。短歌、俳句、古文、漢詩、論語、近代詩などを音読したり、朗唱したり、日本語の美しい響きやリズムを楽しみながら、3つの力を育てています。はっきりとした口調で短歌等を朗誦する子どもたちの姿を見ていると、日本語っていいなと感じます。3年生は、今、百人一首の学習をしています。何百年も前の日本人が作った歌を繰り返し声に出して味わうことで、日本の古きよき心を感じてとってほしいなと思っています。

今、大切にしたい道徳教育

道徳担当 永澤 舞

子どもたちに「道徳ってどんなことを勉強する。」と尋ねたことがあります。子どもたちは「親切にするとか、友達を大切にするとか…」と答えました。その通りです。生活の中で大切にしてほしい道徳性を育む時間です。子どもたちは、人に親切にすること、友達を大切にすること、嘘をついてはいけないことは理解しています。

では、どうして、すでに理解していることを授業で学ぶのでしょうか。例えば、電車に乗っていて目の前に席を必要としている人がいたら、「よろしかったら座ってください。」と、すぐに行動に移すことができますか。「どうしようかな。」「何と声を掛けようかな」「断られたら恥ずかしいな」と、迷う人もいるのではないのでしょうか。道徳の時間は、迷い、悩み、考えた時の心情をみんなで共有したり、共感したりしながら、その中で大切にしなければいけないことをみんなで考える時間です。この時間は共感することが自己肯定につながったり、これまでの自分を振り返ったりと、親切、思いやりなどの道徳的価値について深く考えとても大切なものです。

今、コロナ禍の中で、ソーシャルディスタンスを求められ、不便や不安を抱えながら生活をしています。だからこそ、心のディスタンスは近くありたいと願います。そのためにも、自己理解・他者理解を深められる道徳教育を大切にしながら、学校生活を送れるようにしたいと思っています。

相談室より

スクールカウンセラー 小野 佳子

子どもたちと話す中で、感心する事がありました。友達から困り事を聞いていた子が、「大丈夫だよ。あと少しでできるからえらいよ。」「なーんだ。そんなことか。」と話した子は笑顔になり会話が弾んだということがありました。

これは、カウンセリングの中でも用いられるポジティブフィードバックではと思いました。もしかしたら話を聞いた子は、周囲の大人からこのような対応をされているのかもしれませんが。前向きなフィードバックは、良い方向に促され自己肯定感が高まるもので、カウンセリング場面だけでなく様々な所で活用されています。

相談室というと大袈裟になりますが、一人で考えるよりは誰かに聞いてもらうだけで気持ちが晴れることがあります。そんな時には、相談室に足を運んでいただけるといいなと思います。